

「北の大地の旅路」

高校2年F組 石井雅博

1. はじめに

俺が所属している旅行・鉄道研究部にも「鉄研旅行」と言われる合宿がある。それは、春・夏・冬休みに行われる。私は中1のときから毎回参加していたが、今年の3月はある事情で参加できなかった。そこで鉄研部員とは別の旅行をすることにした。目的地は北海道の根室と網走。その旅行をこれから紹介しよう。

2. 夜の青森で

夜の青森駅は寒～い。っていうか、なぜ青森から始まっているか。なぜなら、最寄り駅の新宿からここに来るまでに、ムーンライトえちごに乗り、あつみ温泉で朝風呂をし、羽越本線、男鹿線、奥羽本線の秋田～青森間を乗り潰したが、この停車場でこの事を書くとページ数が足りなくなるため、カットすることにした。まあ、そう気を悪くしないで続きを読んでください。

青森駅で夕食を買うため、駅弁屋を探したが、19:55に青森に着いた時には、どのお店も閉まっていた。見つけたのは、駅前にあるDOUTOR（ドトール）だけ……。しかし、サンドイッチとコーヒーのセットがあり、しかもテイクアウト可能。これはいいと思い、さっそくハムチーズサンドとコーヒーのセットを買う。それを持って、青森駅のホームで食べる。う～ん、うまい！！夜にピッタシだ。食べ終わると、22:45発の急行「はまなす」を待つ。おいつ、ちょっと待て。なぜ、そんな約4時間前から青森にいるんだ？

それでは、説明しよう。今回の旅行で僕が乗る「はまなす」の車両は自由席。自由席では今回の旅行で使う切符「北海道&東日本パス」が使える。しかし、「はまなす」の自由席はたったの2両。これでは、座れるかどうかが分からない。それでそんな時間から居るのだ。もちろん、暇があれば列車の写真も撮っているし、青函連絡船の発着場所も写真に収めた。たまに、牽引機の重連が来ることもある。そんな事をしているうちに「はまなす」に乗るお客は増えていく。しかし、そんなに混んではない。ちょっと安心した。

22:13、急行「はまなす」が入線してきた。しかし、最初に見えたのは14系客車を車両基地から引っ張って来たDE10形だった。この後、青函トンネルをくぐるED79形と連結するのだ。俺は発車時刻が近付くまで、「はまなす」のいろんな客車の写真を撮った。B寝台やドリームカー、カーペットカーなど……。22:45、「はまなす」は青森駅を離れ始めた。



| | | |
|--|--|---|
| DE10形+DE15形 青森にて | 485系 3000番台 特急つがる（回送） 青森にて | サンドイッチセット |
|  |  |  |
| キハ58系（左）701系（右） 津軽線 青森にて | 485系 3000番台 特急いなほ 青森にて | 789系 特急スーパー白鳥 青森にて |
|  |  |  |
| DE10+14系 急行はまなす 青森にて | ED79形+14系 急行はまなす 青森にて | 14系 急行はまなす 青森にて |
|  |  |  |

3. 長いトンネルを抜けると・・・

「そこは雪国であった」と言うけれど、一番トンネルに近い函館はそうでもない。トンネルに入る前の青森や蟹田は雪が積もっていたのに……。では、さっきの続きから。

青函トンネルに入るところを見たかった俺は、「はまなす」の自由席に座ると窓の景色を眺めていた。列車は蟹田駅で運転停車すると、津軽海峡線へと入っていく。青函トンネルに近付くと思うと、後ろの窓へと移動を始めた。青函トンネルに入るところを見るには、函館・青森寄りにそれぞれ7個のトンネルがあることを確認しよう。暗闇だったため、いくつかのトンネルをくぐったか分からなかったが、青函トンネルに入ったらしい。

青函トンネルは青森と函館を結ぶために1988年に開通。これと同時に寝台特急「北斗星」も運転を開始した。トンネル内には世界一長い52.57kmのレールが引かれている。しかも、青函トンネル内はあまり揺れないのだ。

しばらくすると、北斗星がトワイライトエクスプレスらしき寝台列車とすれ違った。また、ホームらしいものが見えたので、竜飛海底駅と分かった。しかし、撮影は失敗に終わった。しかし、その30分後に吉岡海底駅を通過。今度こそはと、シャッターを切る。撮影成功。その後は木古内駅で運転停車。函館駅で牽引機をED79形からDD51形に変えると、函館を発車。その後は、しばらく眠っていた。途中の苫小牧で降りるため、4:30近くに起きようと思っていたが、なんとか起きることができた。5:01、俺は函館駅のホームに足を踏み入れた。







| | | |
|---|--|---|
|  |  |  |
| <p>吉岡海底駅通過中 はまなす最後尾より</p> | <p>DD51 形 急行はまなす 苫小牧にて</p> | <p>721 系 (左) 731 系 (右) 千歳線 回送列車 苫小牧にて</p> |

4. 寝過ごしと無賃乗車？

苫小牧は千歳線と室蘭本線の駅だ。近くの留置線に通勤車両の 721 系と 731 系が停まっている。また JR 北海道の気動車の車両はほとんどがキハ 40 系かキハ 54 系が多い。そのため、ここで載せる写真の中で同じ車両がダブる場合は 1 枚だけ載せることにする。

苫小牧に降りたが、次の列車は 6:12 発の室蘭本線 岩見沢行きだ。車両はしばらくキハ 40 系が続く。これに乗って途中の追分で降りる。その後は 7:08 発の石勝線 夕張行に乗り、終点の夕張に行く。夕張に来た理由は列車の数が少ない新夕張～夕張間を乗り潰すためだった。しかし、さすがにここまで来ると寒いし、眠い。それでも、窓から見える雪景色はかなり美しい。気が遠くなりそうだった。夕張駅には改札口がなく、代わりに駅舎の中に写真が飾ってあるだけだった。周りはホテルらしき物しか見当たらない。本当に終着駅なのか？早く根室に行きたくなってきた。折り返し列車で新夕張に戻り、そこから特急「スーパーとちかち 1 号」に乗る。こちらはキハ 283 系。実は新夕張～新得間は普通列車が走っていないため、特急列車に普通乗車券のみで乗れる。もちろん、「北海道&東日本パス」も使える。そんなわけで特急列車に乗ったのだが、寝過ごして芽室駅で降りてしまった。とりあえず、改札口を出ようと思い、駅員に特急料金を請求されると思ったが、駅員は「どうぞ」の一言だけだった。なぜ・・・？

駅を出ると、タクシー乗り場とコンビニが見当たる。後は普通の道路も目に入る。東京でいう町田市内の駅みたいなものだ。違和感がある・・・。11:13 の快速「狩勝」がやってくる時間になるのでホームに出る。本来であれば、新得から乗るはずだった。でもこれで予定通りだ。帯広まではそんなに時間がかからなかった。最近工事したのか、駅は高架化されていた。あまり帯広にふさわしくないなあ（涙）11:34 発の特急「スーパーおおぞら 3 号」に乗って、釧路までワープ。これに乗れば 1 時間 30 分後の 13:03 に釧路に着く。ここで、まだこの列車の切符を買っていなかったのが車掌が来た時に買おうと思ったが、車掌はスルー・・・。えっ、検察に来ないんですか？いいんですか、無賃乗車して？そんな事を思いながら、車内販売のお弁当とアイスクリームを購入。アイスクリームは北海道で作られたバニラアイスクリームとのこと。さすがは酪農地だ。結局、5000 円くらいかかる帯広～釧路間を無賃乗車してしまった。

| | | |
|---|--|---|
|  |  |  |
| <p>キハ40系 室蘭本線 普通列車 苫小牧にて</p> | <p>キハ150系 (苗穂運転所) 室蘭本線 普通列車 苫小牧にて</p> | <p>夕張駅 終端部</p> |
|  |  |  |
| <p>キハ283系 特急スーパーおおぞら 新夕張にて</p> | <p>キハ150系 (旭川運転所) 根室本線 快速狩勝 帯広にて</p> | <p>駅弁「知床とりめし」</p> |
|  |  |  |
| <p>ホワイトランド アイスクリーム</p> | <p>太平洋炭礦の海底炭 釧路にて</p> | <p>釧路駅 湿原の鐘 釧路にて</p> |

5. エゾシカと根室駅

先程の無賃乗車の心配も吹っ飛び、急いで13:11発の根室本線 根室行きに乗り込む。車両はキハ54形。普通列車だが、座席が簡易リクライニングになっている車両だ。車内は意外と混んでおり、地元の高校生がやたらと多い。この釧路～根室間は根室本線の中でも列車の本数がかなり少ない。北海道の中で一番長い路線である根室本線を乗りつぶすにはここをクリアしなければならない。駅弁「かきめし」が有名な厚床駅以降になると、釧路湿原が見えてくる。さらに、ここから運転士が警笛を鳴らし、非常ブレーキを掛ける回数が増えてくる。線路内にエゾシカ（鹿）が入ってくるのだ。そのため、運転士は必ず警笛を鳴らし、急ブレーキを掛ける。その度に俺は席を立ち、カメラを構える。しかし、鹿を撮るのはなかなか難しいことで、手ブレすることも多い。十回回か撮って、遂に成功。そんな事をしているうちに、列車は15:22に日本最東端の駅、東根室に到着。そして、15:28

に日本最東端の終着駅、根室駅に到着。いや～達成感があるね。

根室駅は2006年に俳優の関口知宏さんが「JR全線20000km乗りつぶし」を達成した駅である。確かにここまで来ると、関口さんの気分だ。ホームの先には「日本最東端有人の駅 根室駅」という看板が立っている。また、ここからバスで行くと、根室半島に行くことができるのだが、時間の都合で断念した。駅の近くにはお土産屋があり、そこでは煎餅を売っていることが多い。駅の中にもお土産屋があり、「白い恋人」を売っている。家族と部員たちへのお土産として約3箱購入。それと夕食として、「花咲かにめし」を購入。16:00発の折り返し列車に乗って、18:11に釧網本線との別れ駅、東根室駅に到着。そこから、最終列車である18:19発の釧網本線 網走行きに乗る。車両は同じキハ54系。座席に座り、先程の「花咲かにめし」を食べることに。う～ん、蟹の味がたまらないな～。食べ終わると、眠くなってきたので居眠り。ふと、目を覚ますと車内には俺を含めてお客は3人、時刻は20:30。終点まで約1時間だ。途中の北浜駅は海が近く、海の幸がたくさん入った「オホーツクラーメン」がおいしい駅である。時間があつたら、降りたかったなあ…。遂に21:25に終点網走に到着。やっと着いた……。やっとこれでホテルに行くことができる。この日に泊まるホテルは、北海ホテル。駅から5分のところにある。最初は値段が安い和室を予約していたが、洋室のシングルルームも値段が同じだと勧められたので、シングルルームにした。部屋に荷物を置くと、電池が切れ掛かっている携帯電話や iPod、デジカメのバッテリーを充電し始める。そして、1回の大浴場へ Let's Go!! 中に入ると、

の一言。中はかなり広い。シャワーも気持ちがいい。湯船に入ると、最初は暑いですが、しばらくすると気持ちが良くなってくる。ホテルが用意してくれた浴衣を着て、何かテレビ番組を見ると、1:00になっていたので就寝。明日はどうなるかな？お休み……。

「あつたか～～～～～い！！！！！！！！！！」



| | | |
|------------------------------------|---------------------------|---------------|
| | | |
| <p>日本最東端有人の駅 看板 根室駅にて</p> | <p>釧路湿原 根室本線の車窓より</p> | <p>花咲かにめし</p> |
| | | |
| <p>キハ183系 特急オホーツク 網走にて</p> | <p>北海ホテル</p> | |

6. 特快「きたみ」でワープ

翌朝 6:30、ホテルにお願いしたモーニングコールと携帯電話のアラーム、腕時計のアラームで目を覚ます。普通はモーニングコールかアラームのどっちかで目を覚ますが・・・。服を着替えて、忘れ物がないことを確認すると、朝御飯を食べに下へ降りる。洋食か和食がいいが、あまり腹が減っていないのでハムエッグとソーセージとサラダとパンとオレンジジュースで済ませます。近くには木工製品のお店がある。ここで部員以外の同級生へのお土産を購入。07:30になったので会計を済ませます。値段は朝食（800円）を含めて4100円。安くて、サービスも良かったなあ、このホテルは。また泊まりに来るね～。

コンビニで少し菓子パンを購入して、7:43 発の石北本線 北見行きに乗り込む。車両は根室本線と同じキハ54系。石北本線に乗っていると、オホーツク海が見えてくる。流氷！って思ってるあなた。残念ですが、ただ氷を張っており、雪が積もっているだけです。それでも朝のオホーツク海はかえって気分を良くしてくれる。08:49に北見に着くと、ここから9:12 発の北海道唯一の特別快速「きたみ」に乗り込む。これも同じキハ54系。これに乗れば、3時間後の12:20に旭川に到着する。線路沿いには雪がまだ積もっている。途中の遠軽で方向転換をし、その後も快調に走る。しかし、なにもせずに過ごすのは退屈だ。一眠りするか・・・。目を覚ますと、列車は宗谷本線との別れ駅、北旭川を通過中。急いで降りる支度をする。12:20、やっと旭川駅に到着した。


7. やっと電車だ

旭川駅は高架化の工事をしているところだった。旭川駅に到着した俺はホッとした。前日の苫小牧からここ旭川までずっと気動車に乗っていたのだから。ここから函館本線に乗るがやっと電車に乗ることができるのだから。改札口を出ると、今までの駅とは違い、都会らしいところが見えてくる。札幌まであともう少しだ。富良野線の

ホームにくると哑然とした。先程の出口は都会らしさが見えたのに、反対側は工事現場だけで閑散としている。昼食に駅弁「蝦夷わっぱ」を購入。次に 13:41 発の函館本線 岩見沢行きに乗る。やってきた車両は俺の好きな 711 系。北海道で有名な国鉄車両である。しかも、ボックス席が個室のような感じになっている。素晴らしいよね（笑）

13:41、列車は旭川を出発した。購入した「蝦夷わっぱ」を食べ始める。う～ん、ウマイ。国鉄車両で食べる駅弁はウマイ。函館本線の風景は東京で例えると、中央線かな。ちょっと、懐かしい感じ。列車は 14:26 に滝川駅に到着。滝川駅は函館本線と根室本線の駅である。ここを 09:37 に出発し富良野、帯広を経由して 17:38 に釧路に着く普通列車がある。滝川から途中の岩見沢まで 14:30 発の特急「スーパーカムイ 32 号」で移動する。北海道に上陸してから初めて乗る電車特急だ。「スーパーカムイ」は、元々同じ旭川～札幌間を走っていた「スーパーホワイトアロー」と「ライラック」という 2 つの特急列車が 2007 年 10 月のダイヤ改正で 1 つになった特急列車だ。車両は 785 系と 789 系を使用している。さて、「スーパーカムイ」に乗り込んだ俺だが、車内には意外と乗客がいっぱい座っていた。とりあえず空いている席に座り、検察が来るのを待つ。しかし、いつまでたっても車掌が来ない。結局、昨日同様滝川～岩見沢間を無賃乗車してしまった（汗）。14:53、岩見沢着。

岩見沢駅のホームには「ばんえい競馬」の銅像が建っている。馬に 1t 近くの鉄そりを引かせて着順を争うレースらしい。へえ～・・・。

| | | |
|--|---|--|
|  |  |  |
| <p>北海ホテル 朝食</p> | <p>旭川駅 高架化工事</p> | <p>旭川駅舎</p> |
|  |  |  |
| <p>711 系 函館本線 普通列車 旭川にて</p> | <p>789 系 1000 番台 (左) 特急スーパーカムイ 旭川にて</p> | <p>HBC タワー 旭川駅外</p> |

| | | |
|---|--|---|
|  |  |  |
| <p>旭川駅舎とは反対側</p> | <p>駅弁「蝦夷わっぱ」</p> | <p>ばんえい競馬 銅像 岩見沢にて</p> |

8. 札幌はまだ遠し

そのまま「スーパーカムイ」で札幌まで行くと、札幌で過ごす時間が多くなるが、ちょっと乗りたい路線があるので遠回りをして札幌に行くことにした。15:06 発、室蘭本線 苫小牧行きの列車に乗り込む。車両は昨日の朝乗ったキハ 40 系だ。室蘭本線は札幌からの特急列車が多く走っているため、札幌～長万部間を結んでいると思う人がいるかもしれないが、本当の起点はここ岩見沢である。列車は函館本線と別れると田舎道へと進んでいく。日が傾いたからか、異様に眩しい。しばらくすると、15:53 に昨日の朝も通った追分駅に到着。昼間になっても列車の本数が少ない駅だ。太陽に照らされているのにもかかわらず、寒い。ちょっと駅舎を出てみるか。

追分駅の駅舎は意外と普通だった。駅前に昔ここを走っていた SL、D51 形 465 号機の車輪が展示されていた。ここには追分機関区というものがあったらいいが、2005 年に幕を閉じたそうだ。特急列車や貨物列車が通過していく中、俺は駅のスタンプを押したり、近くを歩いてみたりと暇つぶしをした。

やがて、16:47 発の石勝線 千歳行きの発車時刻が近付いてきたので改札口で切符を見せ、急いで乗り込む。ここから 1 駅先の南千歳へ向かう。なぜこんなことをするかというと、苫小牧（正式には沼ノ端）と追分と南千歳はトライアングル地帯となっている。東京では京葉線の市川塩浜と南船橋、武蔵野線の西船橋がその 1 つとなっている。これも乗り潰しの 1 つだからだ。追分を出てから 15 分後、南千歳に着いた。意外と所要時間が多い駅間である。降りる時にどこかの会社に行く研修生らしき人がたくさん乗り込んできた。新千歳空港から来たのだろう。

南千歳は空港に近いので、飛行機が飛んでいるのがよく見える。次は、その新千歳空港に向かう。駅をすぐに出たところに空港に行くためのトンネルがある。新千歳空港行きの電車はそこへ入っていく。17:13 分発の千歳線快速「エアポート 164 号」（車両：721 系）に乗り、新千歳空港に着くと、すぐに隣のホームに停まっていた 17:19 発の快速「エアポート 173 号」（車両：789 系 1000 番台）に乗り換える。先程の車両は 721 系だったが、今度は札幌から特急「スーパーカムイ 41 号」になるので、特急車両に乗ることになった。今回座るのは指定席「u シート」（300 円）。各座席にバッテリー充電用のコンセントが 3 つくらい付いている。大変お得な座席だ。札幌まで快速運転ということもあってか、かなりスピーディーだ。途中、寝台特急「北斗星」とすれ違う。そして、札幌運転所の近くを通ると、遂に 17:55 に札幌駅に到着した。

| | | |
|--|---|--|
|  |  |  |
| D51 形 465 号機の車輪展示 | 快速エアポート uシートステッカー 車両は 721 系 | キハ 281 系 特急「スーパー北斗」 南千歳にて |
|  |  |  |
| 新千歳空港駅名表 | DD51 形+24 系 寝台特急「北斗星」 快速「エアポート」車窓から | 札幌駅名表 |

9. 楽しみの中地、札幌

札幌に着いて、早速到着の喜びを味わう。遂に大都会に着いた！北海道の中心地に着いた！！さ～て、JR タワースクエアに行ってラーメンを食べに行こうか。と思ったが、どうやって行けばいいのか分からない。小学3年生の頃、「青竜」という札幌駅の地下街にあるラーメン屋に家族で行ったことがある。そこで食べた「オホーツクラメン」がとてもうまかった。しかし、その「青竜」に行こうか、それとも JR タワースクエア内のエスタのラーメン共和国に行こうか。でもラーメン共和国は遠そうだし、とりあえず地下の食料品店街に行くか。どこの店で食べようか考えてながら歩いているうちに何と「青竜」を見つけたのだ！？奇跡の再開だった。店内を見ると確かにあの時食べた店・・・。やったー！！カウンター席に座り、「オホーツクラメン」があるか確認。あったー！！早速、おばちゃんに注文。5分くらい待ってから遂に「オホーツクラメン」が出てきた。

う～ん、確かにこの海老、タコ、イカ、ホタテの味。そしてこのスープの匂い。箸の動きが止まらないほどおいしい。懐かしい味だ。この量だと、これ以上食べたくないと言うほど、お腹がいっぱいになる。値段は 1300 円だが、満足だ。ニコニコ顔をしながらある場所へと移動する。

ある場所というのは JR タワースクエアの頂上にある「タワー展望室 T38」だ。入場料（500 円）を払えば、いつでも見ることができる。12 階まで普通のエレベーターで移動し、そこから 38 階までノンストップのエレベーターに乗る。しかし耳がキーンとなる。38 階に着き展望室に入ると、素晴らしい夜景が目に入る。テレビ塔が見えたり、北海道庁や北海道大学、そして大通公園を見渡すことができる。（しかし夜であり見えなかったが・・・）でも気がつくと、周りは家族、カップル、家族、カップル、家族、カップル、家族、カップル・・・。俺は一人・・・畜生めー！！なんだか一人でいるのが辛くなる。歩いているうちに喫茶店らしきものを発見。寂しい気持ちを吹

っ飛ばすにはいいかもしれない。と思いコーラを購入。夜景を見ながらコーラを飲むのは最高の気分だ。隣にカップルがいたが・・・。いい夜景を見ることができたと思い、札幌駅のホームに移動。







ホームに着くと早速列車の撮影を開始。ここでは色々な列車を撮影することができる。また、ほとんどの特急列車がここを発着駅にしている。千歳線、室蘭本線、石勝線、根室本線、石北本線、宗谷本線の特急列車をここで見るができるのだ。カメラのシャッターを押す指が止まらないくらいだ。しかも撮影を続けているうちに検測車（事業用客車）が来たのだ。

検測車とは簡単に言うと、線路の維持管理や乗務員の訓練などのための、営業用に供しない鉄道車両の総称であり、乗客や荷貨物を乗せない車両といえる。牽引機に引かせてやってくる。鉄道ファンの間ではかなり有名である。

その後は急行「はまなす」が来るまで撮影するものがなかった。21:13、「はまなす」が入線してきた。行きは自由席に乗ったが、帰りはドリームカーにあるラウンジに座ることになった。ラウンジは自分が想像しているものとは違い、少し小さかった。でも、ラウンジに来るお客さんは0。ラウンジはもちろん、指定席券は不要。まだ時間があったので、車内を撮影したり、客車の車体番号を確認したり、牽引機の DD51 と一緒に写真を撮ったりしたが、時間はまだ残っている。そこで、稚内～札幌間を結ぶ特急列車、「スーパー宗谷」が来るのを待つことにした。今までは「スーパー宗谷」はこの「はまなす」が発車してから1時間後にここに到着することになっていたが、2007年10月のダイヤ改正により到着時刻が繰り上げられた。21:54、特急「スーパー宗谷」が到着した。これで、JR北海道内の特急列車をすべて撮影することができた。発車まであまり時間がない。急いで写真を撮り終えると、「はまなす」の車内に戻る。22:00、「はまなす」は札幌を離れ始めた。

これより下は特急列車の写真が出るが、違う特急名でも同じ車両があるため、そのうちの一つを紹介する。キハ183系：（北斗、とちち、サロベツ、ただしオホーツクは別）、785系：（スーパーカムイ、すずらん）

| | | |
|--|---|--|
|  |  |  |
| <p>ラーメン屋 青竜</p> | <p>オホーツクラーメン</p> | <p>夜の札幌市街 タワー展望室 T38 にて</p> |
|  |  |  |

| | | |
|--|---|--|
| <p>コーラと夜の札幌市街 タワー展望室 T38 にて</p> | <p>キハ 283 系 特急「スーパーおおぞら」 札幌にて</p> | <p>785 系 (左) 特急「すずらん」 札幌にて</p> |
|  |  |  |
| <p>キハ 281 系 特急「スーパー北斗」 札幌にて</p> | <p>721 系 (右) 函館本線 普通列車 札幌にて</p> | <p>キハ 183 系 特急「北斗」 札幌にて</p> |
|  |  |  |
| <p>キハ 141 系 札幌線 普通列車 札幌にて</p> | <p>789 系 1000 番台 特急「スーパーカムイ」 札幌にて</p> | <p>DD51 形+マヤ 34 形 札幌にて</p> |
|  |  |  |
| <p>DD51 形と俺 急行「はまなす」 札幌にて</p> | <p>14 系 急行「はまなす」 札幌にて</p> | <p>キハ 261 系 特急「スーパー宗谷」 札幌にて</p> |

10. 最後はもう寝るべし

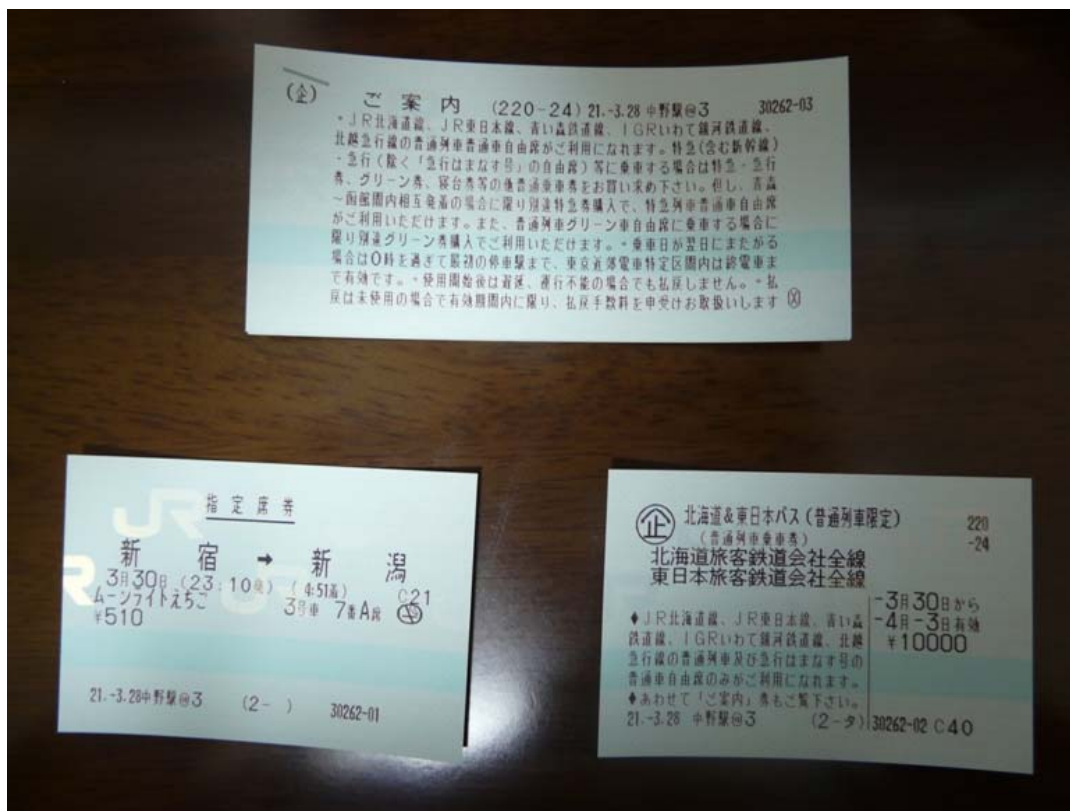
やはり、最大の目的地を離れるというのは「帰れる」という安心感と「もう来れないのかなあ〜」という寂しさがある。それだけ、旅は充実していたのだろう。いや、俺はそう思うけど。車内アナウンスを告げるメロディが流れる。終点、青森には 05:39 に到着とのこと。牽引機を交換する函館まで何もすることがないので、眠ることにした。ふと、目を覚ますと、「はこだて」という文字が見え、急いでカメラを持って交換のシーンの写真を撮る。車内に戻り、再び眠りにつく。目が覚めたのは、青森まであと 30 分ぐらいのところだった。旅の終わり

を告げそうな朝日がかかなり眩しい。青森の近くの車両基地に何と、京浜東北線の209系が停まっていた。おそらく、廃車待ちだろう。そして、終点に到着するアナウンスが流れ終わると、05:39、青森に到着した。そして、俺は最寄り駅の新宿まで東北本線を南下し、赤羽から埼京線で帰った。

11. 終わりに

俺は中一の時に旅行・鉄道研究部に入部した頃からよく旅をしてきた。そして、個人旅行をしたときは停車場によく載せていた。今回の旅は北海道だったが、道内では千歳線、室蘭本線、石勝線、根室本線、釧網本線、石北本線を乗り潰すことができた。長距離の列車に結構乗ったので、乗り潰し距離もかなり増えた。俺はそろそろ、受験勉強をしなければならぬ。今まで鉄研に入って、停車場も書くことができ本当に良かったと思っている。これで、最後の投稿となりましたが、最後まで読んで下さりありがとうございました。そして、停車場もありがとう。

↓↓↓ラストを飾ってくれる今回使用した切符↓↓↓
ムーンライトえちごの指定席券（左下）、北海道&東日本パス
ご案内券（上中央）



<完>